

「先駆けの地における再生可能エネルギー教育推進事業」とは、福島県がめざす循環型社会の形成に向けて児童・生徒の発達段階に応じた再生可能エネルギーと資源の利用に関する意識の醸成を図り、先駆けの地の県民として主体的に行動する態度や資質、能力を育成することを目標とした事業です。

本校では、情報システム科の1年生を対象に総合的な学習の時間、工業技術基礎、ホームルームの時間と、情報システム科3年生の課題研究の時間を利用して、これからの生活を見据えたエネルギーについて着目し、地域における再生可能エネルギーの利用の在り方について学習に取り組んでいます。

<今回の報告>

第1章「これからのエネルギーについて考えよう」（生徒意識調査:アンケート結果）

「これからのエネルギーについて考えよう」 アンケート結果

二本松工業高等学校 情報システム科1年

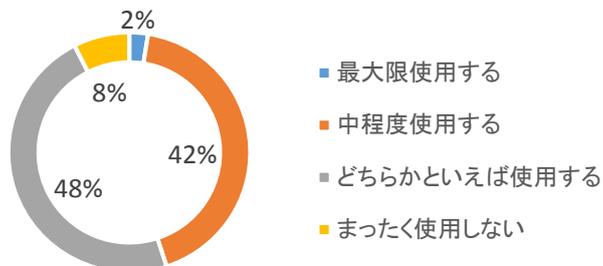
Q1. 日本の将来を考える上で、エネルギー問題は重要なテーマだと思いますか？

たいへん重要だと思う	21
どちらかといえば重要だと思う	17
どちらともいえない	2
まったく重要だと思わない	0



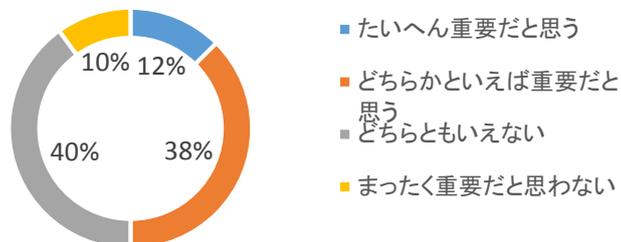
Q2. これから30年後、石油エネルギーを日本は、どのくらい消費することが望ましいですか？

最大限使用する	1
中程度使用する	17
どちらかといえば使用する	19
まったく使用しない	3



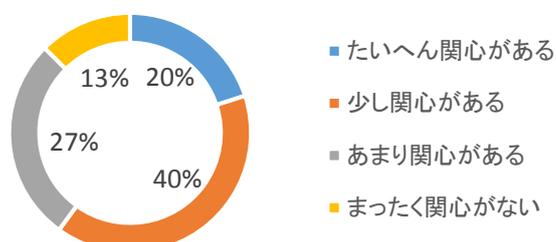
Q3. 日本の原子力発電の電力使用率は、30年後を待たずにゼロにすべきであると思いますか？

たいへん重要だと思う	5
どちらかといえば重要だと思う	15
どちらともいえない	16
まったく重要だと思わない	4



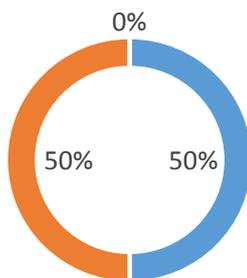
Q4. 再生可能エネルギーについて関心は、ありますか？

たいへん関心がある	8
少し関心がある	16
あまり関心がある	11
まったく関心がない	5



Q5. 東日本大震災後、再生可能エネルギーについての関心に、変化はありましたか？

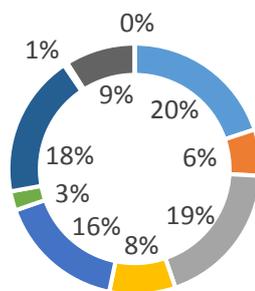
関心が高くなった	20
関心は変わらない	20
関心が低くなった	0



- 関心が高くなった
- 関心は変わらない
- 関心が低くなった

Q6. 次の再生可能エネルギーについて知っていますか？

太陽光発電	40
太陽熱利用	12
風力発電	38
小水力発電	17
バイオマス発電	33
バイオマス熱利用	5
地熱発電	37
雪氷熱利用	1
地中熱利用	18
その他	0



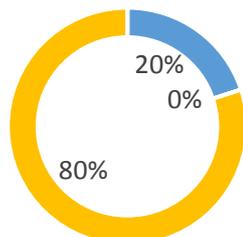
- 太陽光発電
- 太陽熱利用
- 風力発電
- 小水力発電
- バイオマス発電
- バイオマス熱利用
- 地熱発電
- 雪氷熱利用
- 地中熱利用
- その他

上記の情報は、どのようにして知りましたか？（記述）

学校の授業。社会の授業。テレビのCM。ニュース。テレビや本。理科の授業。インターネット。テレビ。新聞。

Q7. 自宅にすでに設置している

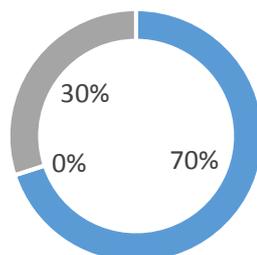
太陽光発電システム	8
太陽熱利用機器	0
燃料電池	0
なし	32



- 太陽光発電システム
- 太陽熱利用機器
- 燃料電池
- なし

Q8. 今後、日本全体で再生可能エネルギーの供給割合を上げていく必要があると思いますか？

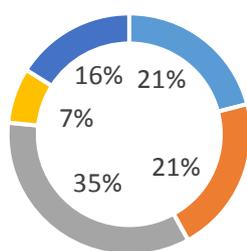
はい	28
いいえ	0
わからない	12



- はい
- いいえ
- わからない

Q9. 今後、中長期的なエネルギーのあり方として、どのような方向づけが重要だと思いますか？（複数回答可）

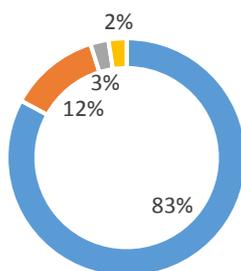
ライフスタイルの見直しなどによる省エネ	17
家庭でのLED製品、省エネ家電の普及促進や事業所単位での省エネ	17
CO2を排出しない再生可能エネルギーの推進	28
CO2の排出量が少ないバイオマス発電によるエネルギー供給増	6
安全性を確保した上で、CO2を排出しない原子力発電によるエネルギー供給増	13



- ライフスタイルの見直しなどによる省エネ
- 家庭でのLED製品、省エネ家電の普及促進や事業所単位での省エネ
- CO2を排出しない再生可能エネルギーの推進
- CO2の排出量が少ないバイオマス発電によるエネルギー供給増
- 安全性を確保した上で、CO2を排出しない原子力発電によるエネルギー供給増

Q10. あなたの地域(二本松市・周辺の市町村)に普及促進したいと思う再生可能エネルギーはどれですか？

太陽光発電	34
風力発電	5
小水力発電	1
バイオマス発電	1



- 太陽光発電
- 風力発電
- 小水力発電
- バイオマス発電

その理由は(記述)

太陽光発電は家庭でもできるので、空地を利用して、たくさんの電気が作れる。
 風力・水力・バイオマス発電は設置スペースの問題もあるため太陽光発電がよい。
 太陽光発電のソーラパネルは、よく見かけるけど、風力発電はあまり見かけない。
 一般家庭でできる。あまり場所をとらない。家庭の屋根に設置しているのが多い。
 新築している住宅に設置しているのを見かける。

Q11. あなたの地域(二本松市・周辺の市町村)における再生可能エネルギーのあり方に関して、

個人的な考えや要望があれば書いて下さい。(記述)
 太陽光発電を増やす。もっと再生可能エネルギー施設を増やす。
 学校や駅、その他の施設で太陽光発電を促進し、そのことで有名にしてほしい。
 再生可能エネルギーは、これからいろいろなところで活躍すると思います。

Q12. CO2の排出量を削減するためにはどのような対策が必要だと思いますか？(記述)

物を焼却するという考えを改めて効率よく物を処分するかを検討する。
 エコカーを多くする。電気自動車の普及促進。自動車のエンジンに水素を利用する。
 さらに省エネを推奨する。ハイブリット自動車の普及。
 自動車は電気自動車や燃料電池自動車を使用する。

Q13. いつかはなくなる化石燃料に代えて再生可能エネルギーを利用するために地域を例に考える

あなたの地域の気候条件や産業(森林・平地・河川)などから具体的に考えてください。(記述)
 河川で水力発電の設置や風の強い場所では風力発電の設置をする。
 空き地を利用して太陽光発電を増やす。山が多いので風力発電をする。
 あまり風が強いわけでもなく河川もあるが風力、水力発電よりも平地を利用して太陽光発電を利用する。
 安達太良山に風力発電を設置する。安達太良山の付近に地熱発電を作る。